

伝えたい 残したい

# 20世紀 のうしく

問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2301

## 根古屋の火の見櫓

個人所蔵

火の見櫓とは、火災の早期発見や警報発信のための見張り台です。

写真は、昭和40年代に撮影された城中町根古屋にあった梯子型の火の見櫓で、上部に半鐘を釣るし、非常時に鳴らして周囲に火事を知らせました。また、踏棧(梯子の足をかける所)の間隔はおよそ3尺(約60cm)だったということから高さは12〜13mと推測できます。



●印：左の写真の火の見櫓があった場所



城中区民会館付近にありました。ともに地域の安全を見守っていたようですが、電話による119番通報体制の普及や防災無線が発達したため役目を終えたことに加え、櫓が老朽化したことから、現在は双方とも撤去されています。



明治・大正・昭和の「昔のうしく」の写真を募集しています。

## 里山の樹木

問 都市計画課  
☎内線2524

第14回

### キツタ



花序：新地町斜面林  
平成16年10月28日撮影



コナラの幹に登るキツタ：城中町斜面林  
平成17年1月26日撮影

ウコギ科の常緑つる性木本。北海道南部〜琉球に分布。市内では、斜面林や林縁等に生育しています。茎から多数の附着根を出し、写真のように他の木の幹に這い登ります。葉は互生し、厚く濃緑色です。若枝の葉身は大きく、卵円形または菱形状卵

## 文芸さろん | 如月 |

稀勢の里悲願の優勝おめでとう  
師走来し雪富士や虹も見ゆ陸橋  
寒空に広場のイルミ美しく  
羽根つきで遊ぶ孫らの笑い声  
婚活に行つて見ようとのおもう希に  
子もちの友とふとすりちがう  
お正月おせちを仕舞い切り紙で  
春の七草ひとり楽しむ  
日当たり良き寢室の濡れ縁に  
植木鉢を置けば虎猫が寄り添って居り

月田さん  
岡村さん  
わただ  
ばーば  
木村さん  
草葉  
匿名希望

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など  
【あて先】〒300-1292牛久市中央3-15-1  
「広報うしく文芸さろん」係 FAX：873-2512  
E-mail：shimin@city.ushiku.ibaraki.jp  
【記載事項】作品、氏名、電話番号、匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)

形、先は浅く、3〜5裂、長さ3〜7cmです。花をつける枝の葉は全縁です。枝先から花軸を出し、散形花序に黄緑色の小花を多数咲かせます。開花期は8〜10月、果実は球形で径6〜7mm、翌年春に黒色に熟します。名前はブドウ科のツタ(ナツツタ)に似ており、より木質なことに由来します。別名はナツツタに対するフツツタです。  
※牛久の里山樹木ハンドブック81ページに掲載。本に関するお問い合わせは牛久自然観察の森(074・6600)まで。  
【資料提供】NPO法人うしく里山の会樹木リサーチ(文章：本田寛、写真：渡辺泰)